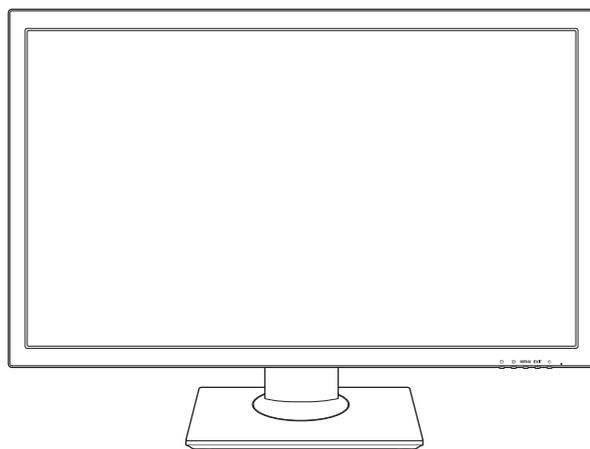


# 27 型ワイド液晶ディスプレイ

## 取扱説明書（操作編）



LD27W81L

### ご使用前に

- ご使用の際は、必ず本書をよくお読みください。

# 目次

本書中の表記 .....	3
各部の名称 .....	4
前面.....	4
背面.....	5
電源の入れ方 / 切り方.....	6
スタンドの機能を使う .....	8
使用時の確認事項.....	12
液晶パネルについて.....	12
省電力機能について.....	12
表示する .....	13
解像度を変更する .....	13
自動画像調整（アナログ接続時）.....	13
複数のコンピューターの画面を切り替えて表示する....	14
OSD メニューで調整する.....	15
OSD メニューの起動と操作.....	15
メニュー画面の詳細.....	20
耐震ベルトを取り付ける .....	29
お手入れ.....	32
困ったときは .....	33
修理を依頼する前に.....	34
機能仕様一覧 .....	35
プリセットタイミング（アナログ接続時）.....	37

# 本書中の表記

本書で使用している記号について説明します。

## 安全に関する記号

本書では次のような安全に関する記号を使用しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
	手順が次ページに続くことを示します。

## 参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
	別紙を示します。
「 」	マニュアルの名称を示します。 例)『サポート・サービスのご案内』

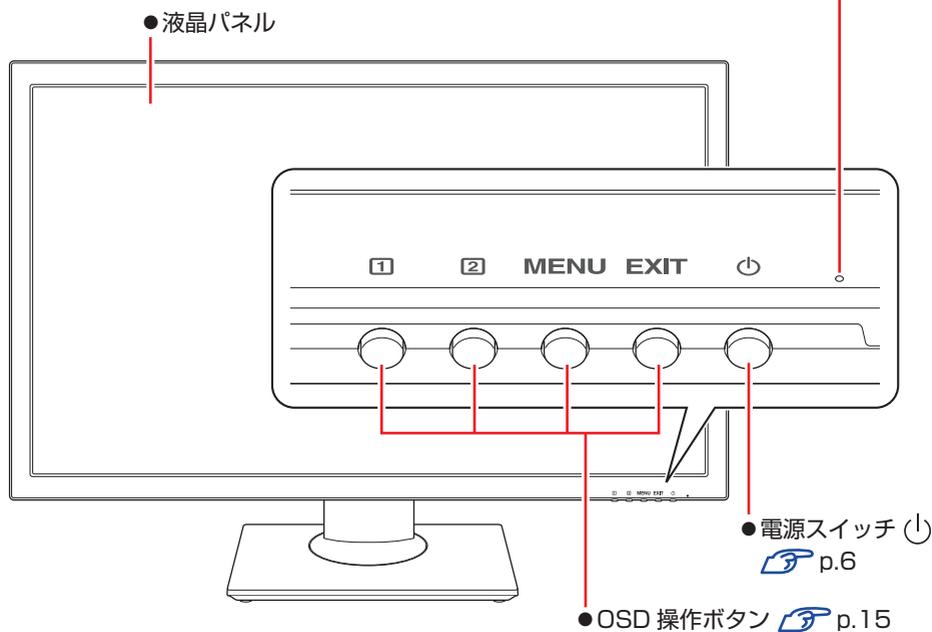
# 各部の名称

本機の各部の名称を記載します。

## 前面

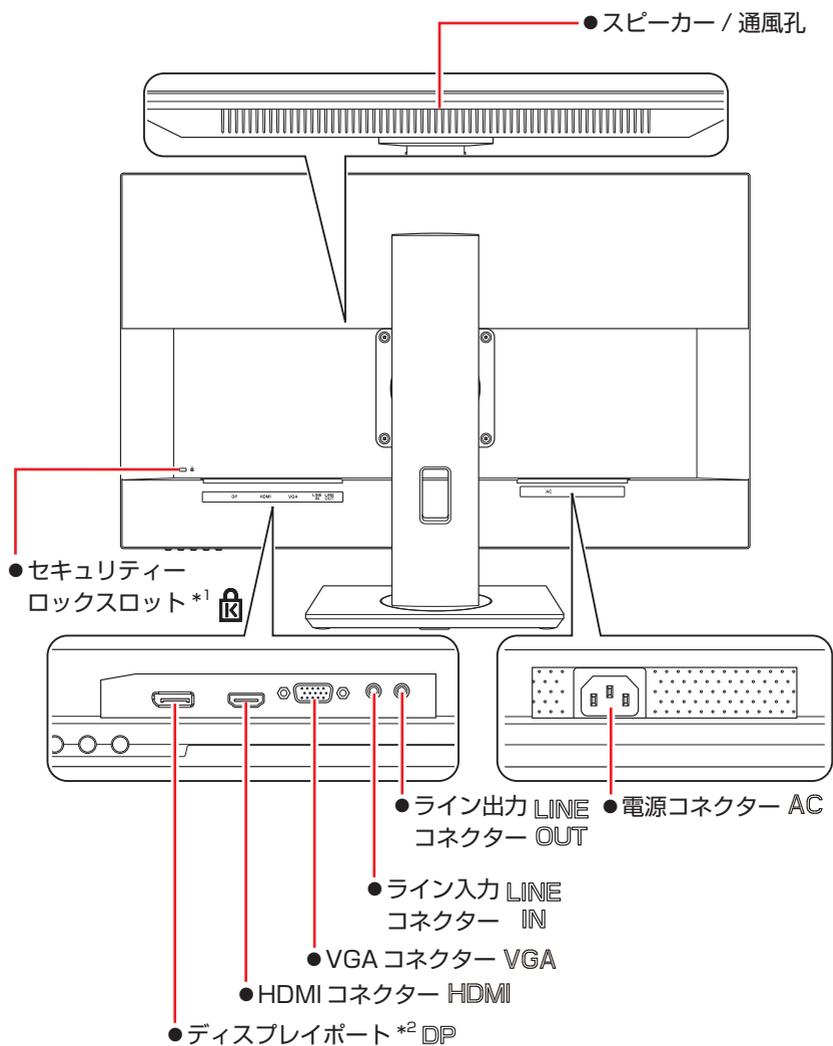
- 電源表示ランプ  p.6、12

ランプ表示	本機の状態
緑色点灯*	通常動作
オレンジ色点灯	スタンバイ（入力信号なし）
消灯	電源オフ



\* OSD メニューで「電源インジケータ」を「オフ」にしている場合、ランプは緑色点灯しません。

 p.27 「設定メニュー」



\*1 市販の盗難抑止ワイヤー（セキュリティロック）を取り付けることができます。

\*2 DP ケーブルを抜くときは、ラッチを押しながらかき抜いてください。

# 電源の入れ方 / 切り方

本機の電源の入れ方、切り方について説明します。コンピューターの電源の入れ方、切り方は、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

## 電源を入れる

電源を入れる手順は次のとおりです。

### 1 右下面の電源スイッチ（）を押して、電源を入れます。

電源表示ランプが緑色に点灯します。

※OSD メニューで「電源インジケータ」（p.28）を「オフ」にしている場合、ランプは緑色点灯しません。

 p.27 「設定メニュー」

### 2 コンピューターの電源を入れます。

画面が表示されます。

※本機への入力信号が無い場合、画面は表示されず、電源表示ランプがオレンジ色に変わります。ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。

 p.33 「困ったときは」

## 電源を切る

電源を切る手順は次のとおりです。

### 1 コンピューターの電源を切ります。

画面表示が消え、本機の電源表示ランプがオレンジ色に変わります。

### 2 右下面の電源スイッチ（）を押して、電源を切ります。

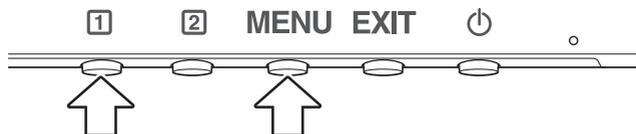
電源表示ランプが消灯します。

※電源連動機能を設定している場合は、コンピューターで作業中のデータを必ず保存してから本機の電源スイッチを押して電源を切ってください。

## 電源スイッチのロック

電源スイッチの操作を制限したい場合は、ロックすることができます。  
電源スイッチのロックとロック解除は、次のボタン操作で行います。

- 電源が入った状態で、**①** ボタンと「MENU」ボタンを同時に5秒間押します。



ロックするときは、「電源ボタンロック中」と表示されるまで押し続けます。  
ロックを解除するときは、「電源ボタンロック解除」と表示されるまで押し続けます。

## 電源連動機能 (HDMI 接続時)

本機は電源連動機能に対応しています。電源連動機能に対応しているコンピューターと接続すると、本機の電源スイッチで、コンピューターの電源をオン / オフできます。

詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

# スタンドの機能を使う

スタンドには、次の機能があります。

- 高さ調節機能  p.8
- ピボット機能 (90° 回転)  p.9
- 前後角度 (チルト) 調節機能  p.10
- 左右角度 (スィーベル) 調節機能  p.11



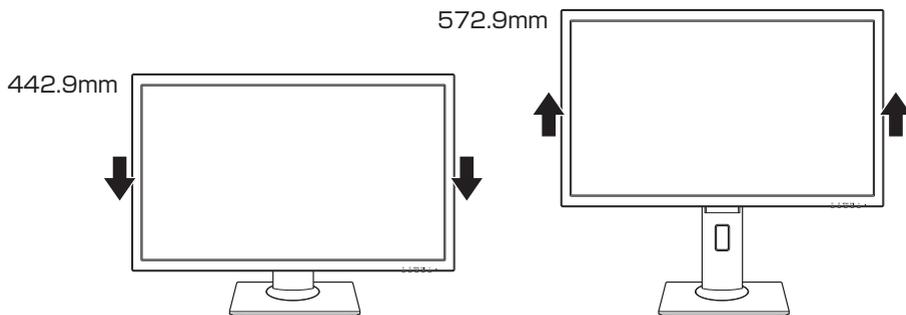
画面の高さや向き、角度を調節する場合は、必ず機器の電源を切った状態で行ってください。また、可動部にケーブル類が挟まらないように注意してください。

## 高さ調節機能

高さは 442.9mm ~ 572.9mm の範囲で調節できます。

画面の両側を持ち、上下させてお好みの位置で止めてください。

※ 本機を移動するときは、必ず高さを一番上にしてください。



## ピボット機能 (90°回転)

ピボット機能を使うと、画面を 90° 回転できます。

※ 画面を回転するときは、必ず高さを一番上にし、後ろに 20° 倒してから行ってください。

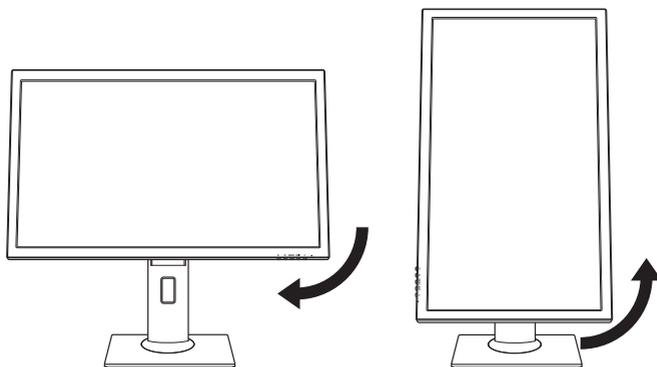
 p.8 「高さ調節機能」

 p.10 「前後角度 (チルト) 調節機能」



**注意**

- 回転する前に、あらかじめケーブル類やデバイス類は取り外してください。
- 回転時は、指などを挟みこまないように、手の位置に注意してください。



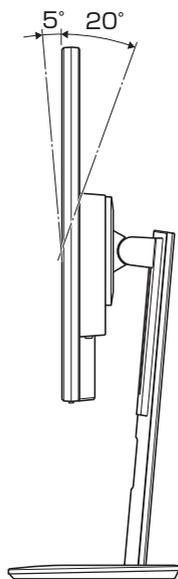
### 画面表示を回転する

画面表示を回転する方法は次の場所をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?15245>

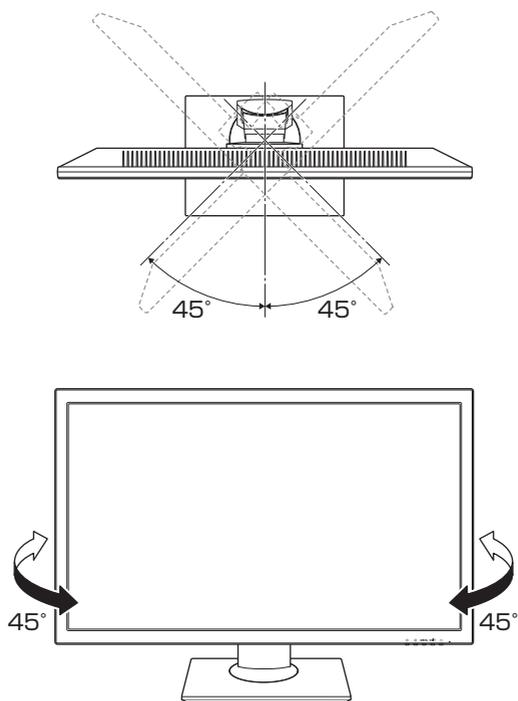
## 前後角度（チルト）調節機能

前後は前に 5°、後ろに 20° の範囲で角度調節できます。



## 左右角度（スイーベル）調節機能

左右は各 45° の範囲で角度調節できます。



# 使用時の確認事項

本機をお使いになる前に、下記の確認事項を必ずお読みください。

## 液晶パネルについて

液晶パネルは、表示する条件により斑点や色むらが目立つ場合があります。また、液晶パネルは非常に高い精度で作られています。ごくわずかに画素抜けや常時点灯する画素が存在する場合があります。いずれの場合も、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。



参考

### 液晶パネルのドット抜け基準値

本機の液晶パネルのドット\*抜け基準値は、5 個以下です。これは、全ドットの 0.00008% 以下に相当します。

\* 「ドット」は副画素 (サブピクセル) を指します。液晶パネルでは、1 個の画素が RGB の 3 個の副画素で構成されています。本機の場合は、6,220,800 個の副画素があります。本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2 に従って、副画素単位で計算しています。

## 省電力機能について

本機の電源が入っていても、コンピューターの電源が切れていたり、コンピューター側が省電力状態になっていたりして本機への入力信号が無い場合は、本機は自動的にスタンバイ (画面表示をしない) 状態になり、電力消費を抑えます。

コンピューター側の省電力機能については、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

本機の各動作状態におけるランプ表示は次のとおりです。

本機の状態	電源表示ランプ
画面表示	緑色点灯 *
スタンバイ (入力信号なし)	オレンジ色点灯
電源オフ	消灯

\* OSD メニューで「電源インジケータ」を「オフ」にしている場合、ランプは緑色点灯しません。

p.27 「設定メニュー」

# 表示する

本機とコンピューターを接続するだけで、本機の解像度やリフレッシュレートなどの情報がコンピューターに読み込まれ、すぐに表示することができます。

## 解像度を変更する

本機の最大解像度は、1920 × 1080 です。  
解像度の変更は、接続するコンピューターの画面設定で行うことができます。  
変更方法は、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

## 自動画像調整(アナログ接続時)

自動画像調整とは、画面表示を自動で最適な状態に調整する機能です。  
接続するコンピューターを変更した場合などに行ってください。  
この操作は、アナログ接続時のみ必要です。

自動画像調整を行うと、次の項目が調整されます。

- ・クロック
- ・フェーズ
- ・水平位置
- ・垂直位置

### 調整時の確認事項

調整は次の状態で行ってください。

- ・本機の電源投入時から 30 分以上経過（動作が安定）後
- ・Windows デスクトップ画面などを表示した状態



**制限**

デスクトップ画面の背景が黒色の場合は、自動画像調整を行っても正常に調整されないことがあります。黒色以外の背景を使用して調整を行ってください。

## 自動画像調整を行う

自動画像調整は、OSD メニューの「自動画像調整」で行います。

 p.15 「OSD メニューの起動と操作」

 p.26 「マニュアル画像調整」

## 複数のコンピューターの画面を切り替えて表示する

本機はコンピューターを 3 台接続（マルチ入力）して、それぞれの画面に切り替えて表示することができます。

画面の切り替えは、OSD メニューの「入力選択」で行います。

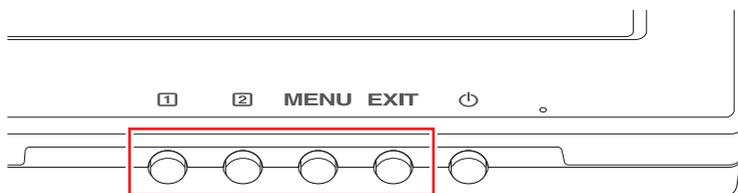
 p.20 「メインメニュー」

# OSD メニューで調整する

画面に関する設定は、OSD メニューで行います。  
調整項目の詳細は、 p.20 「メニュー画面の詳細」をご覧ください。

## OSDメニューの起動と操作

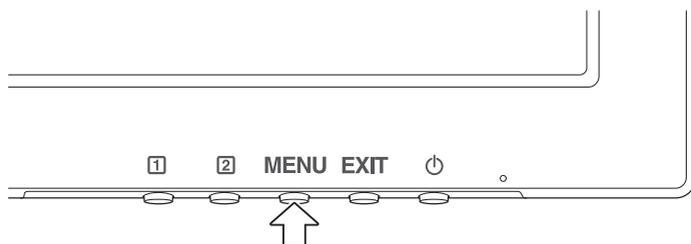
起動や操作には、本機右側下面にある OSD 操作ボタンを使用します。



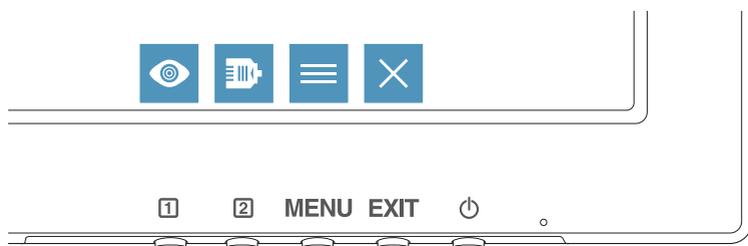
### OSD メニューの表示 (起動)

OSD メニューの表示 (起動) 方法は、次のとおりです。

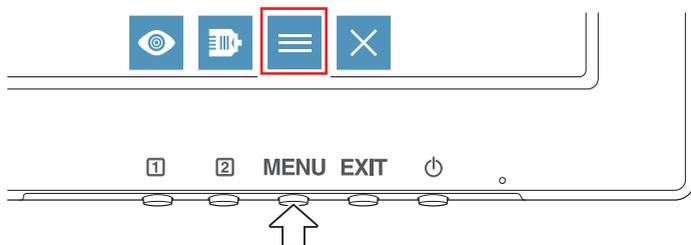
- 1** 電源が入った状態で、OSD 操作ボタン (いずれか) を押します。



ボタン上にアイコンが表示されます。



**2** ≡ のボタンを押します。



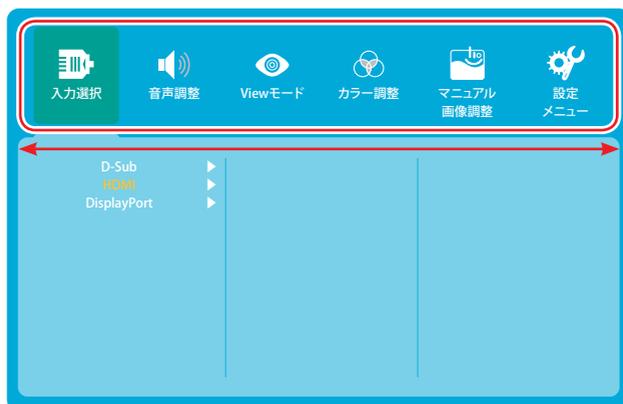
メインメニューが表示されます。



## メニュー画面の操作

メニュー画面の操作方法は、次のとおりです。

- 1 ◀、▶ で項目を移動し、☑ で選択（決定）します。



メインメニューの項目を選択（決定）すると、サブメニューを選択できるようになります。

## 調整項目の操作

サブメニューに調整項目がある場合の操作は、次の手順で行います。

- 1 ▲、▼ で項目を移動し、☑ で選択（決定）します。



- 2 <、> で値を調整し、⇒ で値を決定（調整を終了）します。



## OSD メニューの終了

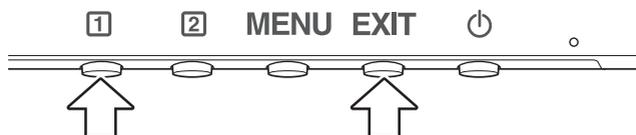
OSD メニューの終了方法は、次の 2 つです。

- **✕** のボタンを押す  
サブメニューの場合は **≡** を選択してメインメニューに戻ると、**✕** が表示されます。
- そのまま放置（初期値は 15 秒）

## OSD メニューのロック

OSD メニューの設定変更を制限したい場合は、ロックすることができます。  
OSD メニューのロックとロック解除は、次のボタン操作で行います。

- 電源が入った状態で、**①** ボタンと「EXIT」ボタンを同時に 5 秒間押します。



ロックするときは、「OSD ボタンロック中」と表示されるまで押し続けます。  
ロックを解除するときは、「OSD ロック解除」と表示されるまで押し続けます。

## 各アイコンの動作

各アイコンの動作は次のとおりです。

アイコン	動作
	メインメニューを表示します。  p.20
	OSD メニューを終了します。  p.18
 	項目を移動したり、値を変更したりします。
	項目や値を決定します。
	前の画面に戻ります。 (値を変更している場合は決定)
	View モードを表示します。  p.23
	入力選択を表示します。  p.21

## メニュー画面の詳細

OSD メニューで表示される各メニューの項目を説明します。

### メインメニュー



メインメニューでは、次の項目を選択できます。

項目	内容
入力選択  p.21  入力選択	表示している画面の入力方式 (D-Sub/HDMI/DisplayPort) が選択されています。 本機に接続した複数台のコンピューターの画面を切り替えるときは、入力方式を変更してください。
音声調整  p.22  音声調整	音量とミュートの設定を行います。
Viewモード  p.23  Viewモード	表示する映像にあわせて、色合いや輝度、コントラストを設定したモードを選択できます。
カラー調整  p.24  カラー調整	コントラスト / 輝度、色合いに関する調整を行います。
マニュアル画像調整  p.26  マニュアル画像調整	画面に関する調整を行います。
設定メニュー  p.27  設定メニュー	OSD メニューの表示に関する調整や電源に関する設定を行います。

## 入力選択



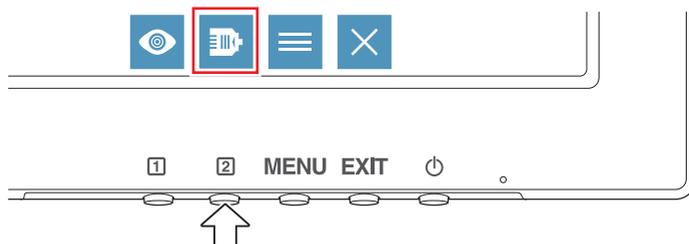
「入力選択」では、表示している画面の入力方式が選択されています。本機に接続した複数台のコンピューターの画面を切り替えるときは、入力方式を変更してください。

項目	内容
D-Sub	VGA コネクタからの入力を画面表示します。
HDMI	HDMI コネクタからの入力を画面表示します。
DisplayPort	ディスプレイポートからの入力を画面表示します。

「入力選択」は次の方法でも表示できます。

**1** 電源が入った状態で、OSD 操作ボタン（いずれか）を押します。  
ボタン上にアイコンが表示されます。

**2**  のボタンを押します。





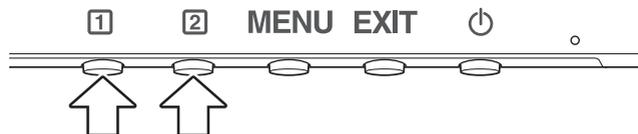
「音声調整」では、次の項目を設定できます。

 は初期値

項目	内容
音量	本機から出力される音声の音量を調整します。
ミュート	本機の音声出力をミュートに設定します。 オン：音が出ません。 <u>オフ</u> ：音が出ます。

ミュートのオン / オフは、次のボタン操作で行うこともできます。

- 1 電源が入った状態で、**①** ボタンと **②** ボタンを同時に押します。



押すたびにミュートのオン / オフが切り替わります。

## View モード



「View モード」では、次の項目からモードを選択します。

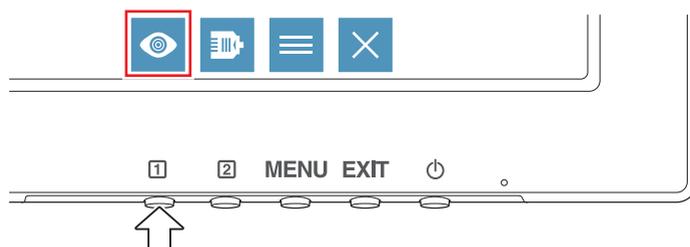
■ は初期値

項目	内容
標準	モードによって、色合いや輝度、コントラストが異なります。 表示する映像にあわせて選択してください。
ゲーム	
映画	
ウェブ	
テキスト	

「View モード」は次の方法でも表示できます。

**1** 電源が入った状態で、OSD 操作ボタン（いずれか）を押します。  
ボタン上にアイコンが表示されます。

**2**  のボタンを押します。



## カラー調整



「カラー調整」では、次の項目を設定できます。

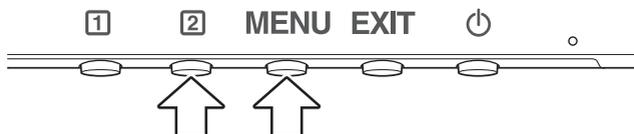
■ は初期値

項目	内容
コントラスト / 輝度	画面のコントラスト（明暗比）と輝度（明るさ）を調整します。 ※ コントラストは次の場合のみ調整可能です。 ・「View モード」が「標準」 ・「ブルーライト調整」が「オフ」 ※ 輝度は次の場合のみ調整可能です。 ・「View モード」と「エコモード」が「標準」 ・「ブルーライト調整」が「オフ」
色温度	画面表示の色調を設定します。 寒色：昼光色より青みがかった色調にします。 標準：標準的な色調にします。 暖色：昼光色に近い自然な色調にします。 ユーザーカラー設定：赤、緑、青の各設定値を変更して、お好みの色調に調整できます。 ※「ブルーライト調整」が「オフ」のときのみ調整可能です。
エコモード	「省電力モード」に設定すると、画面の輝度が 50 になります。 標準 / 省電力モード

項目	内容
ブルーライト調整	ブルーライトの低減設定をします。 オフ：ブルーライト低減なし モード1：ブルーライト低減（小） モード2：ブルーライト低減（大）

「エコモード」の切り替えは、次のボタン操作で行うこともできます。

- 1 電源が入った状態で、2 ボタンと「MENU」ボタンを同時に押します。



- 2 表示されたメニューから「標準」または「省電力モード」を選択します。

## マニュアル画像調整



「マニュアル画像調整」では、次の項目を設定できます。

※「シャープネス」「アスペクト比」以外はアナログ接続時のみ設定可能です。

■ は初期値

項目	内容
自動画像調整	画面を自動的に最適な状態に調整します。
水平 / 垂直位置	水平位置：表示画面を左右に移動して調整します。 垂直位置：表示画面を上下に移動して調整します。
クロック	画面に縦縞状のノイズが入っている場合に調整します。
フェーズ	画面のにじみや、ちらつきがある場合に調整します。
シャープネス	シャープネス（輪郭強調）を調整します。
アスペクト比	画面のアスペクト比を選択します。 アスペクト比固定：アスペクト比を固定したまま表示します。 ■ 全画面：全画面に表示します。

## 設定メニュー



「設定メニュー」では、次の項目を設定できます。

■ は初期値

項目	内容
オーバードライブ	動画再生時の残像感を低減します。 オン：低減します。 オフ：低減しません。
言語選択	OSDメニューの表示言語を設定します。 日本語 / English
解像度のお知らせ	推奨解像度（1920 × 1080）以外で表示している場合に、画面にメッセージを表示します。 オン：メッセージを表示します。 オフ：メッセージを表示しません。
インフォメーション	本機の情報を表示します。 表示される情報は次のとおりです。 ・解像度・水平周波数・垂直周波数・ピクセルクロック ・Preset Number（VGA接続時のみ）
OSD表示時間	OSDメニューを操作しない状態が設定した時間（秒）続くと、OSDメニューが終了します。次の4つの値から設定します。 5/15/30/60
OSD背景	OSDメニューを透過表示にします。 オン：透過させません。 オフ：透過させます。

項目	内容
電源インジケータ	<p>電源表示ランプ（緑色）を消灯します。</p> <p>オン：電源表示ランプ（緑色）を点灯します。</p> <p>オフ：電源表示ランプ（緑色）を消灯します。</p> <p>※「オフ」に設定している場合でも、電源スイッチを押したときには、1 回点滅します。</p>
自動電源オフ	<p>コンピューターの電源を切ったときに、自動的にディスプレイの電源を切ります。</p> <p>オン：コンピューターの電源を切ってから、3 分後にディスプレイの電源が切れます。</p> <p>オフ：コンピューターの電源を切っても、ディスプレイの電源は切れません。</p>
メモリーリセット	OSD メニューの設定を初期値に戻します。

# 耐震ベルトを取り付ける

本機は耐震ベルトで机などに固定することができます。  
(前面側への転倒を防ぎます)

## 使用する部品

耐震ベルトの取り付けに使用する部品は次のとおりです。



ベルト：2本

<ディスプレイ側の固定>



ネジ：2本



ワッシャー (大)：2枚

<机側の固定>



木ネジ：2本または4本



ワッシャー (小)：2枚または4枚

## 取付方法

耐震ベルトの取り付け方法は次のとおりです。

**1** 画面の両側を持ち、高さを一番上まで上げます。

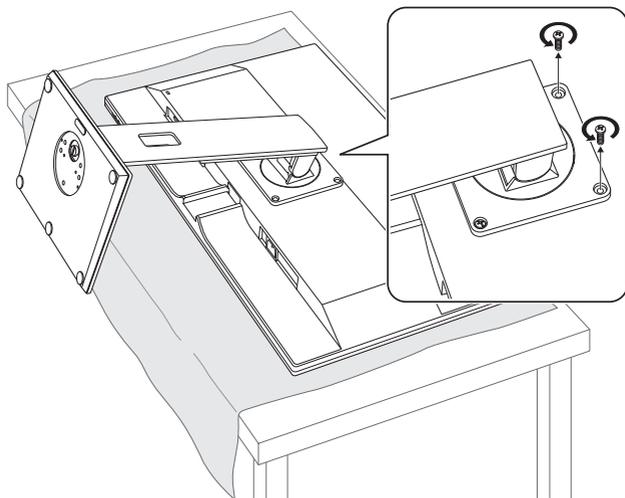
**2** 画面の向き（縦横）を決めて、回転しておきます。

 p.9 「ピボット機能 (90°回転)」

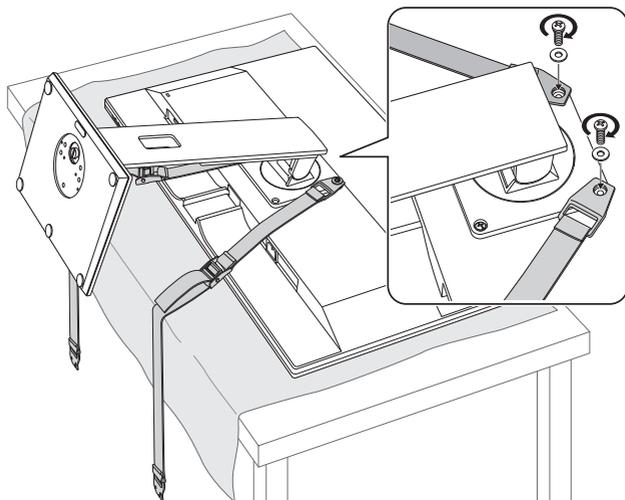
※ 以降の手順は、画面を横向きにした状態で説明します。



- 3** 液晶面を下にして置き、上側の VESA ネジ(2本)を取り外します。  
※ 外した VESA ネジ (2本) は保管してください。

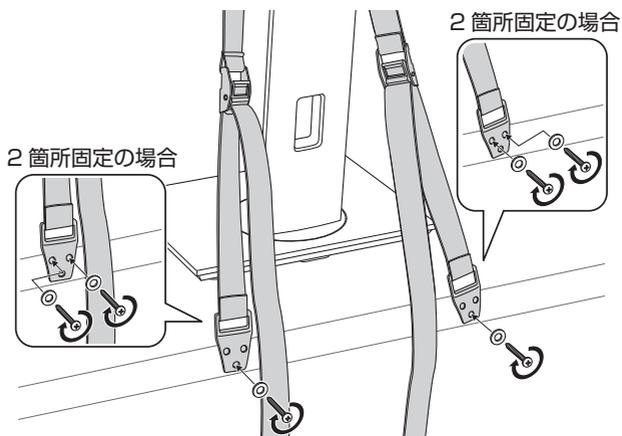


- 4** VESA 穴 (2箇所) にベルトとワッシャー (大) を添付品のネジで固定します。  
※ ベルトは表面が見えるように取り付けてください。余ったベルト部分が引き出されている側が表面です。



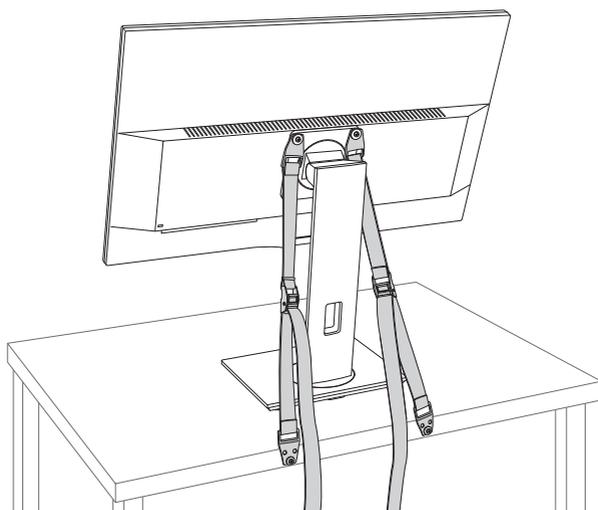
- 5** 本機を起こして置きます。

- 6** 机にベルトとワッシャー（小）を木ネジで固定します。  
しっかり固定したい場合は、それぞれ2箇所ずつネジ留めしてください。



- 7** 画面の両側を持ち、お好みの高さに調節します。

- 8** ピンと張るようにベルトの長さを調節します。



これで耐震ベルトの取り付けは完了です。

※ 画面の高さを変えるときは、ベルトをゆるめてください。

※ 画面を縦向きに変えるときは、VESA 穴からベルトを取り外してください。

# お手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

## 外装

本機の外装の汚れやホコリは、水で薄めた中性洗剤を染み込ませたやわらかい布をよく絞って、軽く拭き取ってください。



### 制限

- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

## 液晶パネル部分

液晶パネルについた汚れやホコリは、乾いた布やティッシュペーパーなどで軽く拭き取ります。水や洗剤などは使わないでください。

## 通風孔

通風孔にホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。

# 困ったときは

困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合、参考にしてください。下記の対処方法でも改善されない場合は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

現象	確認と対処
画面になにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本機の電源が入っている（電源表示ランプが点灯している）かどうか確認してください。 ※ OSDメニューで「電源インジケータ」を「オフ」にしている場合、ランプは緑色点灯しません。  p.27「設定メニュー」 電源表示ランプがオレンジ色に点灯している場合、コンピューターの電源が入っているか確認してください。 コンピューターの電源が入っている場合は、省電力状態の可能性があります。キーボードやマウスなどを操作してみてください。</li><li>● 電源コード、ケーブルなどが、正しく接続されているか確認してください。また、コンピューターと本機の電源を切ってから、ケーブルを接続しなおしてみてください。</li><li>● コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。  p.37「プリセットタイミング（アナログ接続時）」</li><li>● OSDメニューの「入力選択」で、入力方式が合っているか確認してください。  p.21「入力選択」</li></ul>
画面がちらついたり、乱れたりする。	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。  p.37「プリセットタイミング（アナログ接続時）」</li><li>● 本機をアナログで使用している場合は、自動画面調整を行ってください。  p.13「自動画像調整（アナログ接続時）」</li><li>● お使いのコンピューターがリフレッシュレートを変更できる機種の場合は、周波数を変更してみてください。</li></ul>

## 修理を依頼する前に

修理を依頼する前に、 p.33 「困ったときは」をよくお読みください。また、お使いのコンピューターのマニュアルもご確認ください。  
それでも問題が解決できない場合は、 別紙 『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。修理受付窓口へ修理をご依頼ください。

### 製造番号の確認

ご連絡いただく前に、本機背面に貼付のシールで本機の「製造番号」を確認しておいてください。お問い合わせや修理受付の際に必要となります。

# 機能仕様一覧

型番	LD27W81L	
サイズ	27 型ワイド (可視域対角 約 68.6cm)	
パネル方式	カラー TFT	
画素ピッチ	0.3114mm × 0.3114mm	
最大解像度	1920 × 1080	
最大表示色	約 1,677 万色	
同期周波数	水平 : 30KHz ~ 82KHz / 垂直 : 55Hz ~ 76Hz	
最大輝度	350cd/m <sup>2</sup>	
コントラスト比	1000 : 1	
応答速度	約 14ms (オーバードライブオン時 約 9ms ※ Gray to Gray)	
視野角	水平 : 170° / 垂直 : 170°	
表示画面サイズ (横×縦)	約 598mm × 約 336mm	
調整機能	アナログ (D-Sub)	入力選択 (D-Sub/HDMI/DisplayPort)、音声調整 (音量、ミュート)、View モード (標準、ゲーム、映画、ウェブ、テキスト)、カラー調整 (コントラスト / 輝度、色温度、エコモード、ブルーライト調整)、マニュアル画像調整 (自動画像調整、水平 / 垂直位置、クロック、フェーズ、シャープネス、アスペクト比)、設定メニュー (オーバードライブ、言語選択、解像度のお知らせ、インフォメーション、OSD 表示時間、OSD 背景、電源インジケータ、自動電源オフ、メモリーリセット)
	デジタル (HDMI) (DisplayPort)	入力選択 (D-Sub/HDMI/DisplayPort)、音声調整 (音量、ミュート)、View モード (標準、ゲーム、映画、ウェブ、テキスト)、カラー調整 (コントラスト / 輝度、色温度、エコモード、ブルーライト調整)、マニュアル画像調整 (シャープネス、アスペクト比)、設定メニュー (オーバードライブ、言語選択、解像度のお知らせ、インフォメーション、OSD 表示時間、OSD 背景、電源インジケータ、自動電源オフ、メモリーリセット)
入力信号	アナログ	RGB (同期 : セパレート)
	デジタル	TMDS
入力端子	アナログ	ミニ D-sub 15 ピン
	デジタル	HDMI 19 ピン (HDCP 対応) / Display Port 20 ピン
ライン入力コネクター	ステレオミニジャック	
ライン出力コネクター	ステレオミニジャック	
スピーカー	2.0W + 2.0W	
入力電源	AC100V ± 10% 50/60Hz (電源の入力波形は、正弦波のみをサポート)	
消費電力	最大 35W (最大定格)	
温湿度条件	温度 : 10 ~ 35℃ 湿度 : 20 ~ 80% (結露しないこと)	
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	画面横向き時 : 約 639.9mm × 185.0mm × 442.9 ~ 572.9mm 画面縦向き時 : 約 380.8mm × 185.0mm × 673.7mm	
質量	約 6.9kg	
VESA マウントホールサイズ	100mm × 100mm	
プラグアンドプレイ	VESA DDC/CI	
パワーセーブ	VESA DPMS/DVI DMPM 準拠	
スタンドチルト角	前 : 5°、後 : 20°	
高さ調整機能 (昇降)	最大 367.7mm	

ピボット機能 (回転)	90°
スィーベル機能	左右 各 45°
セキュリティー機能	セキュリティーロックスロット (背面)
フリッカーレス	対応
電源連動機能	対応

## プリセットタイミング(アナログ接続時)

本機には、下記の信号タイミングに対応する最適な画面設定があらかじめ登録（プリセット）されています。



制限

- お使いのコンピューターの解像度などを下記の信号タイミング以外に設定したとき、正常に表示されない場合があります。
- 未対応の信号タイミングが本機に入力された場合、「アウトオブレンジ」と表示され、本機はスタンバイ状態に入ります。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 × 480	31.4	59.9
	37.8	72.8
	37.5	75.0
720 × 400	31.4	70.0
800 × 600	37.8	60.3
	48.0	72.1
	46.8	75.0
1024 × 768	48.3	60.0
	56.4	70.0
	60.0	75.0
1152 × 864	67.5	75.0
1280 × 720	45.0	60.0
	44.7	59.8
1280 × 768	47.3	59.9
	47.7	59.8
	60.2	74.8
1280 × 1024	63.9	60.0
	79.9	75.0
1360 × 768	47.7	60.0
1366 × 768	47.7	59.7
1400 × 1050	65.3	59.9

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1440 × 900	55.4	59.9
	55.9	59.8
	70.6	74.9
1680 × 1050	64.6	59.8
	65.2	59.9
1920 × 1080	67.5	60.0
	66.5	59.9

## 本機を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本機は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。

本機の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また国外ではその国の法律または規制により、本機を使用できないこともあります。このような国では、本機を運用した結果、罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## 有寿命部品について

液晶ディスプレイには有寿命部品が含まれています。

有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日8時間、1ヶ月で25日間のご使用で、約5年です。これは、あくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。なお、長時間連続使用など、ご使用の状態によっては早期に、あるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

## パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://shop.epson.jp/guide/recycle/>

## ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万一誤り・お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきまして、3項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 商標について

本書に記載の社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

© エプソンダイレクト株式会社 2021

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

[www.epsondirect.co.jp/support/](http://www.epsondirect.co.jp/support/)